



# おち あい しん ご 落合慎悟県議

## 静岡県議会報告 2016年春号

静岡県政に対するご意見  
ご要望をお寄せください。

9月26日に開催した藤枝市民講座 藤枝市文化センター  
 演題 『東南アジアの現状と日本の防衛』  
 講師 拓殖大学大学院特任教授 武貞秀士 先生

テレビ出演で有名な北朝鮮情勢に詳しい武貞先生は最近の各テレビ局の北朝鮮動向の報道番組にしばしば出演している。講演の話の中でも先生は時々、北朝鮮を訪れた話をしてください。今回の講演の主題は東南アジア特に中国の南沙諸島、南シナ海進出についての課題、日本の防衛と安全保障を解説してください。



市民講座には、毎回、100人余の皆さんが参加されます。講座は県の政務活動費で賄われ、資料代のみ自己負担です。

### 9月26日県政報告と交流会を開催しました。 藤枝市文化センター大ホール



県政報告はプロジェクターを使用し解説した。高塚先生の講演「安保法制の採決」は解り易いと評判でした。



高塚講師と井林代議士は市民交流会には必ず講演をして頂いています。感謝しています。

### 9月18日北村藤枝市長と『事業要望協議』を県庁自民党役員室で開催、続いて東館5階の大須賀副知事に要望説明をした。要望した「障がい者施設」の国費補助が3月11日決定!!(仮)わかふじグループホーム(青南町)・(仮)もくせいの家グループホーム(岡部町内谷)



藤枝市岡部町出身の大須賀副知事に副知事室で市長説明

午後3時頃、北村市長、河野副市長、健康福祉部長一行が、私が執務している県庁の自民党県連役員室に連れられ「藤枝市事業要望5項目」の説明を受けた。

①障害者グループホーム等の施設整備計画 ②小中学校トイレ改修による洋式化の推進 ③都市計画道路志太中央幹線 ④都市計画道路小川島田幹線 ⑤国道一号バイパス4車線化

市長から「27年度は県の藤枝市関連の道路予算が1/3になり、障害者施設・学校トイレも不採択になった。」との説明を受け、私は県の障害者政策課長から社会福祉法人に対する27年度の助成状況を確認し、次年度予算獲得に向け対策をした。学校トイレは国の指導で耐震化が優先で、県内の学校は耐震化済みであり全て不採択だった。子ども達の為支援活動する。志太中央幹線と小川島田幹線は全て県施工と言うわけにはいかない。県と焼津市、藤枝市で工区を分担し、決定後、国に支援要請をする。国一バイパス4車線化は県の渋滞箇所となっている。陳情活動の強さで伝わり、財務省次第で決まる。

### 9月17日岡部町大龍勢保存会が『大龍勢打上げ橋の階段設置要望』で県教育委員会文化財保護課から事業費1/2補助確約!!



自民党県連役員室で県から説明を受ける。 タラップ式の橋 階段設置工事了

8月に大龍勢保存会の前島さんや龍勢連の皆さんから「大龍勢の打上げ橋タラップが老朽化し、登るのに危険」との相談があった。特にタラップ梯子は登るのに危険なため、階段にしたいとの要望を受けた。

私は県教育委員会文化財保護課と相談し、結果、大龍勢打上げ橋は県の民俗文化財であり、1/2補助が受けられることを知った。今年度予算は2千万円あり、使途の予定がない為、即決で予算決定できるとの回答を得た。そこで北村市長とも相談し、大龍勢支援の為、残額を市負担で了承を得る約束で、9月17日に正式に県庁まで要望に来て頂いた。

28年10月16日予定の大龍勢に間に合わせるため、藤枝市もすぐに予算化してくれて、橋の階段は3月に完成した。ぜひ皆さん、大龍勢をご覧ください。

### 10月13日藤枝商工会議所青年部藤枝市大会に県の補助金要望



役員室で商工振興課長に青年部が説明

H28年に開東ブロック商工会議所青年部大会が藤枝市で開催決定されたため、商工会議所青年部が県補助金要望に訪れた。県商工振興課に他県の同様補助金調査をさせ、前例から200万円を確認し、28年度県予算に組入れる様計らった。藤枝市で約2千人規模の大会が開かれれば宿泊施設や飲食店、土産物に大いに街は潤う。商工会議所青年部大いに頑張れ!!

### 着々と進む岡部町殿橋下流右岸整備



殿橋の羽佐間側に小さな公園がある。以前、朝比奈川の親水公園計画があったようだ。河川敷所有が建設省から県に変更した場所である。此処の竹林を26年度から伐採し、27年度から4千万円の予算で多目的広場として整備している。大龍勢やコスモスの時は駐車場に利用できる予定。

### 2月17日平島住宅団地管理組合と県公営住宅課の協議



自民党の会議室で県公営住宅課長・課長代理・班長と協議した。管理組合は汚水処理施設の老朽化に伴い、今後の処理場の運営についてH26年に県と市に要望していた。

### 12/2 県議会治山・砂防事業推進議員連盟で静岡市内2か所を視察した。



H26年の台風18号被害で興津地区の東海道本線が不通となった崩落復旧事業の防災機能強化の取組について視察した。2ヶ所目は長沼五郎松地区急傾斜地崩落現場の対策事業を視察。

### 参加者募集 落合政経塾は創立9年目

基本 毎月第一水曜日  
19時～21時開催  
高塚講師の講演、県政報告と最近の話題と意見交換等を行なう。

元参議院事務局首席調査官の高塚講師が時事問題を分かり易く解説してくれる。毎回講演します。高塚講師は世界情勢に詳しく、常に勉強している。

## 落合慎悟事務所

〒426-0031 藤枝市築地838  
 TEL 054-645-8100  
 FAX 054-645-8111  
 メール s.o@thn.ne.jp  
 http://www.ochiai-shingo.jp



# 静岡県議会報告 五輪会 自民改革会議 静岡県議会議員

# おち あい しん ご 落合慎悟



### 県議会史上初!! 予算案一部を否決、議会側で修正案を提出し賛成多数で可決!!(別紙詳細) 知事が遠州灘海浜公園構想に県営野球場計画提案!! 浜松市選出の県議から異議!! 浜松市民の同意がない!!

『静岡県子どもの貧困対策計画』策定。裏面に子供の貧困の状況と貧困対策計画の概要説明を載せました。我が国の「子どもの貧困率」は16.3%とOECD加盟国中の中でも高い水準であり、特にひとり親世帯については54.6%と31か国中最低と深刻な状況にある。26年8月に「子供の貧困対策に関する大綱」が策定され、都道府県に計画策定を求められた。山形大の戸室健作准教授が都道府県別「子どもの貧困率」を発表した。静岡県は10.8で全国14位。1位の福井県は5.5だった。先日、日本財団は子どもの貧困をこのまま放置した場合の経済損失の深刻度を都道府県ごとに偏差値にして発表した。最も深刻なのは沖縄県で損失が小さいのは福井県だった。また教育格差改善など対策をした場合としない場合の差は約4兆円との試算。

### 『来年4月の消費税10%増税』に賛成反対論議が過熱!! 増税中止なら7月同時選挙もあり??

中国の急激な減速で世界の経済が落ち込み、原油安から世界の投資が減り、設備在庫が増えている。日本では大手家電のシャープが台湾企業の子会社になりそう。東芝は損失を隠し、利益計上した。白物家電などを中国企業等に売却を検討する状況にある。日本企業で好調なのは自動車関連企業と独自技術のある優良企業で中小零細企業は非常に苦しい経営を強いられている。商業ではコンビニが好調で史上最高売上と利益を計上しているの比べ、大手スーパーは軒並み赤字計上となっている。静岡県内の商店は廃業が多く、商店街の形態が無くなりつつある。駅北口商店街は商店街から飲食店街化が進んでいる。静岡県の景気は穏やかに回復しつつあると報告されているが、実態は非常に悪くなっている感がある。消費税が増税されてから消費の落ち込みは続いている。もし、このまま来年増税したら、更に消費が落ち込む心配である。消費税の増税収入は6兆円だが、安部政権で、国の税収は15兆円も増えた。消費税より経済対策で景気を良くし、税収拡大が大事ではないか。

### 『少子化突破戦略の羅針盤』を健康福祉部子ども未来局の職員が県内調査分析して発刊!!

この「羅針盤」は「静岡県と市町の輝く未来のために」合計特殊出生率2の達成に向けた基礎分析書である。静岡県は「子育ては尊い仕事」の理念に基づき『合計特殊出生率2』の目標を掲げた。子どもの数「2人ないし3人」の希望がかなえられる社会の実現をめざし、少子化対策への取組を推進している。少子化対策、児童福祉、統計学、家族社会学の各専門家と意見交換からスタートし、大学生の協力を得て調査分析を行い、各市町別にデータをまとめ上げた。各市町ごとの合計出生率や県との差の要因、子育て支援策の紹介、自慢できるポイント、「市長から一言」を載せてある。巻末には施策指標一覧も市町別別に掲載し、分析しやすく作られている。素晴らしい出来!! 藤枝市の合計特殊出生率は1.44で30位。県出生率との差が生じている要因は、結婚要因▲0.11、自慢は周産期・小児医療充実。

### 『ふじのくに「有徳の人」づくり大綱』策定!! (教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策)

昨年、地方教育行政の法律改正で義務付けられた。大綱は県教育振興計画第2期計画期間の2年間だけで、30年度からは新たな大綱(教育に関する基本理念)と県教育振興基本計画(教育に関する基本施策)を策定する。「地域の子は地域で育てる」全ての大人が子供の模範となり、家庭・学校・地域が役割を果たし、互いに学びを支え合う「横の連携」教育を社会総がかりで進める。

昨年5月から自民党静岡県連総務会長として各種団体の要望受付や県当局との打合せなど県庁3階にある自民党県連役員室で執務してきました。随時日程が入るJA経済連、商工会、看護連盟など各種団体との意見調整や県庁組織・予算調整など総務会長として初めて経験することが多く、大変勉強になりました。この経験を活かし、これからも明るく豊かな静岡県・志太地域の発展のため、務めてまいります。皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 2月県議会(2月22日～3月17日) 知事報告 川勝知事は28年度事業予算案の提案説明と県政の課題について所信を述べた。

県政運営の基本理念に「富国徳の理想郷「ふじのくに」づくり」を掲げ、国土のシンボルであり、日本の中心に位置する富士山を仰ぐこの地に「任んでよし、訪れてよし」「生んでよし、育ててよし」「学んでよし、働いてよし」の理想郷を築くべく、全力を傾注してきた。28年度の県税と地方交付税など財源総額は27年度とほぼ同額だが、社会保障費、公債費など義務経費の増額が見込まれ、政策経費財源に限られる中、総合計画の後期アクションプランの着実な推進と健全財政の堅持の2課題に対応すべき状況下での予算編成となった。集中と選択による事業の優先化・重点化、既存事業の「やめる、減らす、かえる」の徹底で歳出入り削減と未利用財産の売却に努めた結果、156億円の財源を捻出し、29年度以降に活用可能な基金を360億円確保した。その結果、総額1兆2,410億円と昨年度比13億円増えた。重点取組の第一は、大規模地震への万全の備えで、特に津波対策で遠州灘沿岸部を進めている防災林の嵩上げでレベル1を超える津波被害の軽減として静岡モデルの取組を市町と共に更に進める。浜松市篠原地区に計画する野球場は防潮堤に隣接して整備することにより、平時は県民スポーツ、憩いの場として、有事の防災直後には津波避難施設として、復旧段階は支援の拠点として機能させる。浜岡原発から31km圏内の11市町を対象に原子力災害広域避難計画を公表し、関係市町や専門家の意見も伺った。今年度中に計画を策定する。28年度に住民の甲状腺被ばくを防ぐため、原発から5km圏内の4万7千人に対し、県が備える安定ヨウ素剤を事前配布する。重点取組の第二は、内陸フロンティアを拓く取組です。国の総合特区の評価結果が公表され、地域活性化総合特区53地域の中で2番目に高い評価を受けた。今後も官民一体の取り組みにより、推進区域の事業の早期具体化を支援し、防災・減災と地域成長とを両立させる。

### 2月県議会 厚生委員会報告3月8～9日 厚生委員会は総額2,350億円と大きな福祉分野の審査。

社会健康医学の研究推進……社会健康医学の視点を取り入れ、健康寿命の延伸に先端的な施策や研究に取組み、事業に反映する。地域福祉支援計画の策定……28年から5年計画、3大柱の施策①福祉の人づくり②共生の地域づくり③福祉の基盤づくり生活保護及び生活困窮者対策の状況……県内昨年末で24,075世帯、30,874人、全国は163万2千世帯、216万4千人。内訳、高齢者50.2%、母子5.2%、障害者11.9%、傷病者14.4%、その他18.4%。離職で生活困窮者が増加している。地域包括ケアシステム構築の推進……誰もが、住み慣れた地域で、安心して暮らしている体制を、市町が中心となり構築する。介護保険関連施設整備の助成……広域型3施設4.9億円、地域密着型51施設12.2億円、施設開設準備93施設10.5億円。少子化対策の主な取組……社会全体で結婚・妊娠・子育てを応援する機運醸成、幼児期の学校教育・地域子ども子育て支援事業。保育人材の確保対策……保育士・保育所支援センターの運営、こども園の新任保育教諭の法定研修、保育士修学資金貸付助成。児童虐待・DVドメスティック・バイオレンス……児童虐待相談件数26年2,132件、一時保護511人、今年度増加している。DV相談件数は26年2,505件、一時保護59人、今年度12月末の相談件数が2,274件で増加している。吉原林間学園の改築整備……情緒障害児短期治療施設の吉原林間学園が老朽化で移転改築。入所人員 小学30人中学20人。不妊治療費助成の拡充……体外受精等の特定不妊治療助成を初回15万円から30万円に引上げ、対象年齢43歳未満。子どもの貧困対策……ひとり親家庭の現状は年収が母子家庭200万未満52.9%、父子家庭300万未満59.9%である。子どもの貧困率16.3%から貧困対策として4の重点項目①教育の支援②生活の支援③保護者の就労支援④経済的支援。発達障害者支援の推進……発達障害者支援センターの相談件数がH20年の1.7倍で、東部地域や成人期の相談が増加している。在宅重症心身障害児の医療支援……2,737診療所アンケート結果、重症心身障害児に診療が可能422、その内公表可能112。食品の安全確保対策……ノロウイルス食中毒の未然防止対策を重点に取組む。H27年発生件数13件、患者数499人。



那覇空港のANA貨物専用機



福井医大の手術用練習機材装置



県が発刊した分析書「ふじのくに少子化突破戦略の羅針盤」